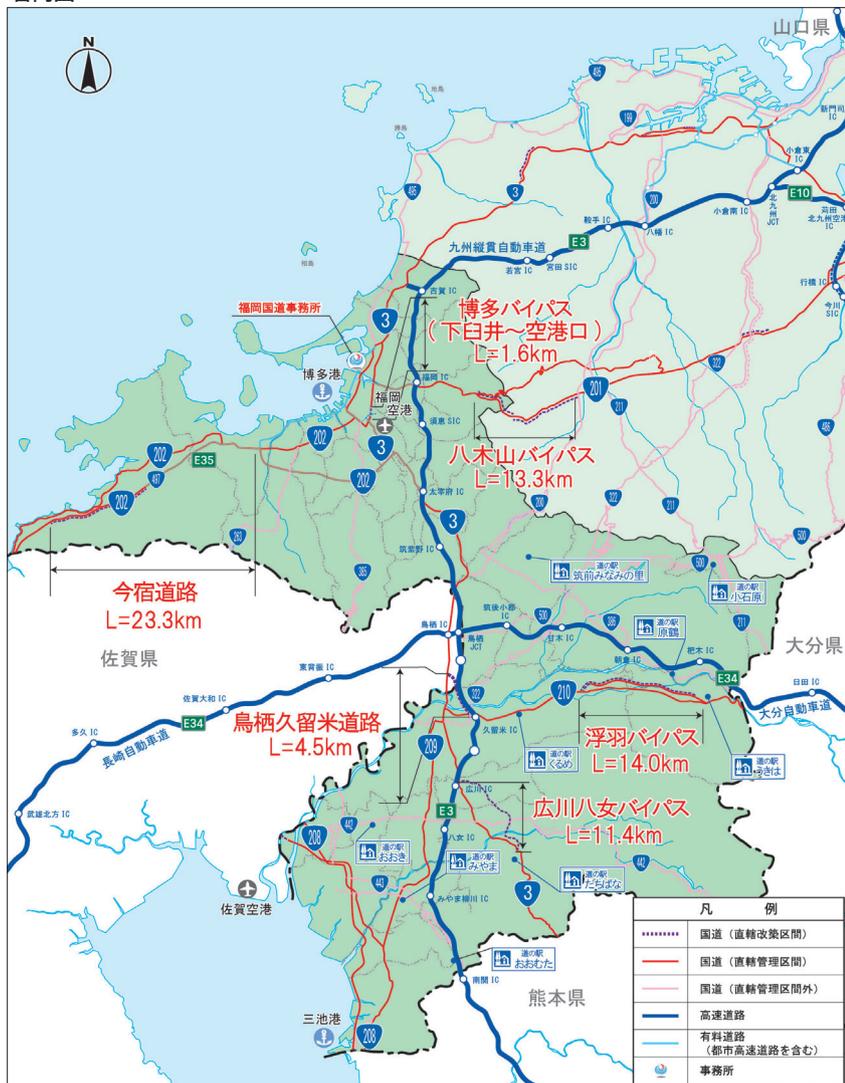


## 福岡国道事務所の事業概要について

国土交通省 九州地方整備局  
福岡国道事務所 所長 仲谷 俊昭



管内図



### 1. はじめに

福岡市を中心とする福岡都市圏は、天神や博多などの都心部において高度な都市機能が集積し、その周辺では博多港や福岡空港などアジアの玄関口（ゲートウェイ）や西日本のハブとして機能を有するなど、国内外の交通の結節点として、非常に重要な役割を担っています。

福岡国道事務所は、その福岡都市圏を中心とした福岡県の南西部のエリアを管轄し、現在、6箇所 の改築事業を推進しています。

### 2. 主な改築事業の概要

#### ○国道201号八木山バイパス

国道201号は福岡県北部の横断軸であり、八木山バイパスは福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ重要な道路である

が、平成26年の無料化に伴う交通量の増加（293百台/日（令和4年度））に加え、前後4車線区間に挟まれたボトルネック区間であり、交通渋滞や対面通行による正面衝突事故が多く（事故や故障車両等による通行規制が年間45回（令和4年度））発生しています。

八木山バイパスは、交通混雑の緩和と道路利用者の安全・安心の確保を目的として、令和元年度より有料道路事業を組み合わせ、4車線化事業に着手し、全体13.3kmのうち、篠栗IC～筑穂IC間の約5.6km区間については、令和6年度の4車線供用を予定しており、現在、橋梁上部工工事を推進しているところです。

#### ○国道3号博多バイパス（下白井～空港口）

九州・西日本の拠点空港である福岡空港では、航空機混雑の解消及び将来の航空需要の増加に対応するため、滑走路増設事業が行われており、更なる利用者数の増加が見込まれています。こうした中、福岡空港へのア



国道201号八木山バイパス施工状況

作成したメタバース（国道3号空港口交差点）



アクセス手段の約4割を占める自動車交通の円滑化が課題となっています。

国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）は、国道3号の主要交差点の立体化整備する延長1.6kmの事業であり、福岡北九州高速道路公社による福岡高速3号線（空港線）延伸事業と一体となって、空港口交差点をはじめとする福岡空港周辺道路の渋滞緩和、福岡空港や博多駅などの物流拠点や医療施設へのアクセス強化を図ることを目的とした事業です。

国道3号博多バイパス立体化事業では、福岡北九州高速道路公社による事業と合わせ、現在の平面交差点が3層構造となり、施工にあたって

の迂回路設定も含めて複雑な事業となるため、円滑な事業推進には正確なイメージの共有が欠かせないため、メタバースを構築するなどインフラDXも推進しています。

今般構築したメタバースは、道路の概略設計や基盤地図情報等を基に作成した3次元モデルに、車や人の動き等の時間軸を加えた4次元メタバースとなっており、完成イメージを自由な位置・角度から確認できるのみならず、車両や自転車の走行速度や密度を変化させ、道路整備効果を視覚的に表現しているところが特徴です。

### 3. 管理関係事業の概要

福岡国道事務所は、国道3号、201号、202号、208号、209号、210号の6路線約293kmの道路の維持管理、構造物の補修の他、幹線道路の事故対策、生活道路の安全対策、自転車通行空間の確保等を目的とした交通安全事業を27ヶ所、災害時の緊急輸送道路の通行確保や景観形成等を目的とした電線共同溝事業を9箇所で開催しています。

その他、道守※やVSP（ボランティア・サポート・プログラム）などを通じ、地域住民の方々との連携を深めながら、一体となった道路管理活動も実施しています。

※道守とは、道にかかわる様々な調査、研究、啓発活動や清掃、美化、点検・通報などのボランティア活動、並びに道を守り育てる規範意識のもとでの実践活動などの諸活動、及びこれらを実施される方の総称

### 4. おわりに

地域の皆様のご理解・ご協力のもと、今後とも、安全・安心で快適な移動の実現や生産性向上、国土の強靱化に尽力して参りますので関係各位のご指導・ご支援をお願いします。



国道202号中村大学前交差点（福岡市）



道守活動